

令和6年度 第2回 浜松市立高等学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月23日（水） 13時10分から15時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立高等学校 応接室
- 3 出席委員 須賀淳子委員、杉浦友治委員、金田知久委員、増田治晃委員
欠席委員 林左和子委員、富室俊和委員
- 4 学 校 草谷（校長）、河田（副校長）、若井（教頭）、河島（事務長）
- 5 傍 聴 者 なし
- 6 会議記録

(1) 授業参観

ア 授業参観にあたって見学のポイント（副校長より）

- ・年々スライド投影の授業が増え、板書が少なくなり、説明もわかりやすくなっている。
- ・全生徒が同一のクロームブック（1人1台端末）を持っており、授業での利用が当たり前になっている（調べ学習、発表資料作成、探究活動等）。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を目指し、どの授業でも言語活動を重視。
- ・成績評価も全学年が観点別（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体性」の3観点）になった。
- ・パフォーマンステストなどを盛り込んでいる教科が増えてきた。粘り強い取組の中で自らの力を伸ばす姿勢を評価、生徒の自己評価や相互評価もある。

イ 授業改善の取り組み（副校長より）

- ・生徒による授業評価を実施
- ・ICT活用研修として、園田学園女子大学の堀田教授、上鶴間高校の柴田校長を招いて講演、授業への指導助言を実施している。
- ・11月公開授業を予定
- ・管理職の授業参観、教員相互の授業参観の実施あり

(2) 議事

ア 校長挨拶

- ・学校運営協議会という新しい仕組みの中で、さらに学校運営に参画していただきたい。生徒の成長ぶりに驚かされる日々。健全に伸ばしていきたい。学校の使命の重さを感じている。
- ・新グランドデザインを紹介します。地域や中学校に発信していきたい。
- ・校長通信のうち、文化祭、体育大会の様子、ICT活用研修より、教育実習の様子、演劇部の様子を紹介します。
- ・先日、細江警察署からのお礼の連絡があった。本校の女子生徒が高齢女性を助けた。

イ 学校の近況報告、ブログ記事の紹介、全国大会出場部活の紹介（教頭）

- ・部活動の実績 ・地域貢献活動 ・総合的な探究の時間
- ・10月現在で8つの部活動が全国大会へ出場している。

ウ 研究協議 授業評価アンケートの結果の報告（副校長）

- ・ICT活用状況、授業進度、授業のわかりやすさ、協働の様子などを生徒に質問しているが、各教科ごと質問肢はさまざまである。教科、科目間で確認したい項目がそれぞれ異なるため。
- ・どの教科も「C」は極めて少なく、力がつく授業が実施されている。
- ・学年をまたぐ授業だと、科目担当が変わることがあるので、評価が下がったりすることがある。前年度とのつながりを考慮する必要がある。
- ・与えられたものはきちんとできるが、自走できていると答える生徒はまだ少ない。
- ・英語の授業を英語で実施するという質問に 85%以上の生徒が当てはまると答えており、活発な言語活動が行われている。
- ・小テストに対して、準備して受けていない割合が目立ち、指導方法に改善が求められる。
- ・情報のタイピングがかなり生徒には好評である。

エ 意見交換

- ・タイピング実習の増加を希望しているという意欲的な回答は結構だが、共通テストとの兼ね合いが大変と思う（杉浦委員）。
- ・アクティブ・ラーニング（AL）授業が入ってきて、学力保証との兼ね合いが難しいと思うが？（須賀委員）
 - AL 授業の中で学力もつくという考え方である。実際にペアー活動やグループ活動の中で話したり聞いたりする中で生徒の力はある。教える内容がとても多いので、その科目の全範囲を網羅しながら、担当の先生が軽重つけて授業を組み立てたりしている（副校長）。
- ・校長通信にもあったが、柴田校長先生の考え方に共感する。新しい方法に慣れ、教員にも考えが浸透していると感じた。タブレットはツールなので、それでどんな力をつけるか、ということである。授業アンケートは、9教科とも同じアンケート項目でとる、というのもいいが、アンケートは授業改善のためにとるので、教科ごとそれぞれでもよい。学力の3観点に基づいて授業アンケートを組み立ててみたらどうか。授業見学やアンケートにより、学校が「ナイスチャレンジ」をしている様子が伝わってきた（金田委員）。
- ・今後C B T（computer-based-test）の入試が実施されるのか？（金田委員）
 - 校長 すぐには入らないが、視野には入っていると考えられる（校長）。
 - 高校入試で東京都は英語のスピーキングテストを実施している（副校長）。
- ・思考力をみとるためには、何か「書かせる」とか「振り返る」という活動が大切。生徒も授業アンケートを書くことによって自分の授業の受け方の振り返りに使える

るとよい。リフレクションを意識するとアンケートの意義も深まる。学校体制での取り組みは大事（金田委員）。

- ・自己表現が大事。そのために読書が推奨されるが、読書の時間はあるのか？語彙力なども読書がかなり役に立つが（須賀議長）。

→教育活動の中で、相手に自分の意見を発表したりすることで言語活動を活発にしている。読書経験の少ない生徒もいるのでそこを補いつつ学習活動をすすめたい（校長）。

- ・グループワークはとても大切。企業人として、今の若い人は「SNS、メールで終わったから・・・」で終わってしまうことが多いので、しっかりコミュニケーションがとれる人材が求められる。自分の意見を言葉にできる、相手に伝えられるというスキルが社会に出た後とても大切になる（増田委員）。

(3) 熟議（活動）

付箋紙に「市立生につけさせたい力」を書き、グループごとに共有。KJ法で実施。

「コミュニケーション力」「地域と結びつく力」「文武両道」など様々な視点が共有された。

(4) その他

- ・次回の第3回学校運営協議会は、令和7年2月17日（月）「学校関係者評価」を予定している。